

## 1. 活動の概要

6月19日(水)、松江市立揖屋小学校の特別支援学級3～6年生を対象に、『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。体験活動に「和同開珎作り」を希望されていたので、古代の人の生活やお金について職員から話をしました。

つづいて、「和同開珎作り」に移りました。3班に分かれ、作業で使う道具について注意事項を説明した後、火を使うなど危ない作業は6年生や先生を中心に行いました。鑄型に流し込んだ低融点合金が冷めるまでの時間は、和同開珎や古代のお金についてクイズ形式で学びました。学習の後、鑄型から枝銭を取り出し、それぞれ自分の和同開珎を外し、やすりやサンドペーパーで磨いて仕上げました。

## 2. 活動の様子

### 1)古代の人びとの生活やお金について学ぶ



「お金がない時代、欲しいものはどうやって手に入れた？」



「和同開珎1枚は今のお金の価値でどれくらいでしょう？」

### 2)古代体験活動～和同開珎を作ろう～



「作業の前に鑄型の模様や文字をよく観察しましょう」



「低融点合金を溶かします」



「枝銭から慎重に和同開珎を外しましょう」



「和同開珎を磨きます」

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1)児童の皆さんから…

- ・金をつくってみてたのしかったです。またつくりたいです。
- ・むかしのお金のみためが心に残った。
- ・むかし、ぶつぶつこうかんをしていたのかとこころにのこりました。あとなぜお金がつくれたのかがわかりました。

#### 2)担任の先生から…

- 良かった点…歴史に興味をもてたこと、実際に体験ができたこと、お土産もあり友だちや家族に話げできたこと、  
クイズ等を通して知識を広げることができたこと。
- 準備をしていただき、本当にありがとうございました。

#### 3)古代文化センターから

歴史の勉強を始めた6年生だけでなく、3～5年生も一緒に参加されたので、具体的な歴史の話だけでなく、貨幣が用いられるようになるまでの人びとの生活などについてクイズを出題し、考えてもらいました。積極的に発言する児童も多く、正解を発表する際には様々な反応があり、低学年の児童も熱心に取り組んでくれた様子でした。

和同開珎作りでは、道具の確認や作業を進めるにあたっての注意事項を最初に行ったうえで、ゆつくり作業を進めました。3班(3～4人)に分かれ、各班に先生が1人ずつ付いて、作業を見守っていただきました。

鋳型を輪ゴムで止めたり、ペンチで和同開珎を外したりするような力を必要とする作業に苦戦する児童もいましたが、高学年の児童が手伝ったり、やり方のコツを教えるなど助け合って作業を進めていました。一つ一つの手順を確認しながら、慎重に作業を進めたおかげで、枝銭はどの班も完璧に仕上がり、鋳型を開けた時には歓声があがっていました。最後の磨き上げの作業まで真剣に取り組み、銀色に輝く和同開珎を全員が持って記念撮影を行いました。

和同開珎作りを通して、古代のお金作りの難しさや苦労、身近にある貨幣の歴史について知ってもらえきっかけになったと思います。